

2018（平成30）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース

社会科教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

資料は、藤原辰史（ふじはら たつじ）氏の「耕す体とリズムとノイズー労働と身体」（『食べること考えること』、共和国、2014年、89～106ページ）です。これを読み、以下の各問に答えなさい。

問1 筆者は下線部の『身体疲労』が生じる由来は何であると論じているのか。その論理構成を図で説明しなさい。

問2 筆者は何を根拠に議論をすすめているのか。重要なものをいくつか具体的にあげなさい。（400字程度）

問3 問2であげた根拠のうち、あなたが納得できるものと納得できないものに分け、それぞれなぜ納得できるのか、なぜ納得できないのかを説明したうえで、この論考の是非を論じなさい。（800字程度）

非公開

【資料】

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

2018（平成30）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース

社会科教育専修

出題の意図

この小論文は、琉球大学のアドミッション・ポリシーに基づき、教育学部・学校教育教員養成課程が求める、将来教師として教育に従事するために必要な教育の理念と実践を広く深く学ぶ意識と資質について評価するものである。すなわち、資料(社会科学的な内容)に対して、その内容を正確に読解し、そこから得られた認識を基に設問の趣旨を踏まえて合理的に考察し、それを的確に論述する構想力と表現力について、問うものである。